



Sagami Women's University

後援会会報

SEP. 2019 No.49



目次

後援会からのお知らせ	1	学園だより	5
後援会会長に就任して		学長挨拶	
後援会会長 深澤 信隆		各学科から	
2019年度総会報告		新任教員紹介	
2019年度事業報告		近況報告	
会員通信	4	秋学期学年暦	
娘と私の大学生活。親の私ができる事		就職状況報告	
感謝でいっぱい		入学試験日程	
私の学生時代		後援会会則	13
つぶやき			

相模女子大学・相模女子大学短期大学の沿革

本学の歴史は、明治33年（1900年）に設立された日本女学校に始まる。その後、明治42年（1909年）に開設した帝国女子専門学校が、戦後の学制改革により、昭和24年（1949年）相模女子大学となり、昭和26年（1951年）には短期大学部を設置、そして平成20年（2008年）に大学院を新設し、一貫した女子教育の殿堂として今日に至っている。

学園歴概要

1900年 9月（明33）	相模女子大学前身「日本女学校」開設。翌10月18日に開校。設立者:西澤之助 東京市本郷区龍岡町36番地 (現:文京区湯島4丁目1番11号)	1978年 4月（昭53）	短期大学部家政科家政専攻を「生活経営専攻」と「生活造形専攻」に分離。
1909年 4月（明42）	「帝国女子専門学校」の設立が認可。	1999年 4月（平11）	短期大学部英文科を「英語英文科」に、家政科を「生活学科」に名称変更。
1909年 9月（明42）	「帝国女子専門学校」開校。高等予科、本科:家政専門部、研究科を設ける。日本女学校を日本高等女学校と改組し、附設。東京市小石川区大塚町70番地(現:文京区大塚)	2000年 4月（平12）	学芸学部英米文学科を「英語英米文学科」に名称変更。
1920年 3月（大 9）	帝国女子専門学校の学則を抜本的に改正。本科、選科、特科、研究科の各科を設ける。本科は第1部:人文学科、国文学科、史学科、第2部:理化学科、第3部:家事科、第4部:主婦科に分ける。	2003年 4月（平15）	学芸学部「人間社会学科」を開設。学芸学部国文学科を「日本語日本文学科」に名称変更。学芸学部は日本語日本文学科、英語英米文学科、人間社会学科、食物学科食物学専攻、食物学科管理栄養士専攻の4学科2専攻となる。短期大学部国文科、英語英文科を改組し、「メディア情報学科」を開設。短期大学部生活学科生活造形専攻を「生活造形学科」に、食物栄養専攻を「食物栄養学科」に改組。短期大学部国文科、英語英文科、生活学科の学生募集停止。短期大学部はメディア情報学科、生活造形学科、食物栄養学科の3学科となる。
1920年 4月（大 9）	帝国女子専門学校に本科の第1部国文学科、第3部家事科、第4部主婦科を設置。	2004年 3月（平16）	短期大学部生活学科の廃止。
1933年 4月（昭 8）	帝国女子専門学校の第1部人文学科、史学科、第2部理化学科、第4部主婦科を廃止。予科を置く国文学科第2部、修業年限2年の家庭科の新設を含む学則改正が認可。	2005年 3月（平17）	短期大学部国文科、英語英文科の廃止。
1938年 4月（昭13）	帝国女子専門学校の学則を改正し、国文学科と家事科に新たに専修科を開設。	2008年 4月（平20）	「相模女子大学大学院(栄養科学研究科 栄養科学専攻(修士課程))」開設。学芸学部「子ども教育学科」を開設。学芸学部人間社会学科、食物学科食物学専攻、食物学科管理栄養士専攻の学生募集停止。短期大学部メディア情報学科を「学芸学部メディア情報学科」に改組。学芸学部人間社会学科を改組し、「人間社会学部(社会マネジメント学科・人間心理学科)」を開設。学芸学部食物学科を改組し、「栄養科学部(健康栄養学科・管理栄養学科)」を開設。学芸学部英語英米文学科を「英語文化コミュニケーション学科」に名称変更。相模女子大学は学芸学部(日本語日本文学科、英語文化コミュニケーション学科、子ども教育学科、メディア情報学科の4学科)、人間社会学部(社会マネジメント学科、人間心理学科の2学科)、栄養科学部(健康栄養学科、管理栄養学科の2学科)の3学部8学科となる。短期大学部メディア情報学科の学生募集停止。短期大学部生活造形学科を「生活デザイン学科」に名称変更。相模女子大学短期大学部は生活デザイン学科、食物栄養学科の2学科となる。
1944年 4月（昭19）	帝国女子専門学校の学則を改正し、国文学科を「国語科」、家事科を「育児科」と「保健科」、家庭科を「経済科」に名称変更。	2010年 3月（平22）	短期大学部メディア情報学科の廃止。
1945年 4月（昭20）	13日夜半から14日明方にかけての米軍の空襲により、帝国女子専門学校、日本高等女学校、静修女子商業学校の全校舎と7つの学寮が焼失。	2010年 4月（平22）	相模女子大学大学院に「栄養科学研究科栄養科学専攻博士後期課程」を開設。相模女子大学大学院栄養科学研究科栄養科学専攻修士課程を大学大学院栄養科学研究科栄養科学専攻博士前期課程に名称変更。
1946年 4月（昭21）	旧陸軍通信学校跡地への移転(神奈川県高座郡相模原町上鶴間4097番地:相模原市の現在地)。	2012年 3月（平24）	学芸学部食物学科の廃止。
1948年 4月（昭23）	帝国女子専門学校の学則を改正し、国語科を「国文科」、保健科を「生活科」に改め、「英文科」を新設。別科として修業年限1年の家庭科を新たに設置。	2013年 4月（平25）	学芸学部「生活デザイン学科」を開設。相模女子大学は学芸学部(日本語日本文学科、英語文化コミュニケーション学科、子ども教育学科、メディア情報学科、生活デザイン学科の5学科)、人間社会学部(社会マネジメント学科、人間心理学科の2学科)、栄養科学部(健康栄養学科、管理栄養学科の2学科)の3学部9学科となる。短期大学部生活デザイン学科の学生募集停止。相模女子大学短期大学部は食物栄養学科の1学科となる。
1949年 4月（昭24）	相模女子大学学芸学部国文学科、食物学科、経済学科の3学科設置。	2015年 3月（平27）	学芸学部人間社会学科、短期大学部生活デザイン学科の廃止。
1951年 3月（昭26）	帝国女子専門学校は、国文科、育児科、生活科、経済科、英文科、別科国文科、別科英文科、別科家庭科生の卒業式をもって最後の幕を閉じ、31日廃校。		
1951年 4月（昭26）	相模女子大学短期大学部国文科、英文科、商科、家政科の4科を開設。		
1953年 3月（昭28）	学芸学部経済学科の廃止。短期大学部英文科、商科の廃止。		
1958年 4月（昭33）	学芸学部食物学科に医学進歩コースを設置。		
1961年 4月（昭36）	短期大学部家政科に「家政コース」と「食物栄養コース」を設置。		
1964年 11月（昭39）	校歌「相模女子大学の歌」(金田一京助作詞、高木東六作曲)を制定。		
1966年 4月（昭41）	短期大学部に「英文科」を開設。国文科、英文科、家政科の3学科となる。		
1967年 4月（昭42）	学芸学部「英米文学科」を開設。国文学科、英米文学科、食物学科の3学科となる。		
1968年 4月（昭43）	学芸学部食物学科を「食物学専攻」と「管理栄養士専攻」に分離。		
1970年 4月（昭45）	短期大学部家政科を「家政専攻」と「食物栄養専攻」に分離。		

後援会からのお知らせ



後援会会長 深澤 信隆

後援会会長に就任して

会員の皆様には、日頃から後援会運営に関しまして、御理解と御協力を賜り大変感謝致しております。

さて来年、東京オリンピックが開催するに伴い、社会ではグローバル化が急速に進んでいます。

大学に在籍している、限られた時間の中でそうした時代に対応できる人材を育成する為に後援会と致しましては大学と連携をとり学生が自ら取り組む活動に対し出来る限り、学生のニーズに合わせた支援を実施したいと考えております。

具体的な取り組みにつきましては、一、大学が推奨している課外活動(地域連携活動)に参加される学生に対して交通費等の一部負担を実施する事により、より多くの学生が参加できる環境を整えたいと考えております。

二、大学図書館に学生が興味ある新刊を寄贈し学生が本を手にしたくなる環境を整えて、一人ひとりの読解力アップに貢献したいと考えています。

三、学生の自主的活動の集大成として毎年実施している相生祭は

地元近隣の方々また地域連携活動でお世話になった方々に大学に来て頂き、学生との交流、そして学生にとって社会を学ぶ場として学生が主体となって企画しております。そうした相生祭に後援会も参加し相生祭に援助を計画しています。

四、学生の就職活動に役立てて頂くために、今年度も就職活動に対する親の関わり方をテーマに講演会を企画運営したいと考えています。

五、学生の福利厚生の一環として、災害に遭遇した時の為に大学内に非常食の備蓄を予定しております。

また修学意欲がありながらも家計状況により継続が困難な学生に対して、奨学金の支給を実施したいと考えております。

以上五項目が、今年度後援会が取り組む活動計画になります。

後援会は、学生一人ひとりの夢が膨らむ素敵な大学にする事を目指して未来を見つめ、夢を見つけて羽ばたく発想力に富んだ女性を育てる為の支援活動を大学と連携を取りながら進めて参りたいと思っております。

二〇一九年度役員選出

二〇一九年六月十五日(土) 一時から十二時二〇分まで、相模女子大学三号館三一四教室において定期総会を開催しました。大学から学長はじめ顧問の先生方にご出席をいただき、一四四名の会員が参加しました。風間学長からご挨拶をいただいた後、議事が進行されました。

一、二〇一八年度事業報告の件
二、二〇一八年度収支決算報告及び監査報告の件
三、二〇一九年度役員選出の件
四、二〇一九年度事業計画(案)の件
五、二〇一九年度収支予算(案)の件

が審議され、すべて承認されました。概要は以下のとおりです。

なお、二〇一八年度収支決算報告及び監査報告・二〇一九年度収支予算書は二・三頁に掲載いたします。

二〇一九年度役員選出

会長	深澤 信隆
副会長	鍋澤 真樹
副会長	池ヶ谷 千秋
常任理事(総務部担当)	松木 稔和
常任理事(会計部担当)	山室 哲也
常任理事(事業部担当)	山口 充世
理事	奥山 小百合
理事	藤田 恵

二〇一九年度事業計画

役員任期は、二〇一九年度定期総会終了後から二〇二〇年度定期総会終了時までです。

会議等

一、役員会・常任理事会を必要に応じて開催し、重要事項を審議する。

二、定期総会を開催する。六月十五日(土)、於相模女子大学。

三、教育・就職個別面談を開催する。六月十五日(土)、於相模女子大学。

四、相生祭に参加する。十一月三日(祝)、於相模女子大学。

五、就職に関する懇談会を開催する。十一月十六日(土)、於相模女子大学。

六、その他

二〇一九年度事業計画

相模女子大学

一、教育研究活動の充実を図る。

二、学生の福利厚生の実をを図る。

相模女子大学短期大学部に対する援助

◆内容 健康測定・栄養相談など

三、学生の課外活動の充実と活性化を図る。

四、学生の課外活動における顕著な活動を顕彰する。

五、相生祭等、学生の自主的活動を援助する。

六、学生の就職活動を支援する。

七、学生の地域連携活動を援助する。

八、その他

刊行物

会員、その他関係者に配付する。

一、会報(年二回 九月・三月)

二、その他参考資料

給付奨学生

経済的理由により修学困難な学生に対し、奨学金を支給する。

弔意

学生、父母の死亡に対して弔慰金を支給する。

相生祭に参加します

今年も後援会として相生祭に参加します。健康測定コーナーや食物栄養学科コラボ企画など様々な催しを検討しております。

◆日時 二〇一九年十一月三日(祝) 十時～十一時 十三時～三〇分～十四時三〇分

◆会場 七号館ラウンジ

◆ご協力 食物栄養学科

弔意

相生祭に参加します

◆内容 健康測定・栄養相談など

2018年度 収支決算書

2018年4月1日から
2019年3月31日まで

相模女子大学 後援会
相模女子大学短期大学部

収入決算額 36,878,112円
支出決算額 30,251,329円

6,626,783円 (次年度へ繰越)

科目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(△)(A-B)
1.会費	32,680,000	32,330,000	350,000
2.寄附金	0	0	0
3.雑収入	30	24	6
4.前年度繰越金	4,548,088	4,548,088	0
合計	37,228,118	36,878,112	350,006

※本年度会費 大 学 2,992名×10,000円 = 29,920,000円
短期大学部 241名×10,000円 = 2,410,000円

科目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(△)(A-B)
1.事務費	2,291,000	1,955,449	335,551
(1)印刷製本費	560,000	523,065	36,935
(2)消耗品費	30,000	13,905	16,095
(3)通信費	1,201,000	1,116,059	84,941
(4)弔慰費	250,000	132,400	117,600
(5)旅費交通費	150,000	106,520	43,480
(6)渉外費	20,000	7,500	12,500
(7)雑費	10,000	0	10,000
(8)業務費	70,000	56,000	14,000
2.事業費	19,984,000	17,499,822	2,484,178
(1)学生関係費	16,110,000	13,849,422	2,260,578
①課外活動助成費	2,700,000	1,407,278	1,292,722
②福利厚生助成費	6,400,000	6,623,577	476,423
③学生指導助成費	10,000	2,784	7,216
④就職対策助成費	6,300,000	5,815,783	484,217
(2)行事費	1,900,000	1,800,000	100,000
①大学祭等助成費	800,000	800,000	0
②卒業記念パーティ助成費	1,100,000	1,000,000	100,000
(3)文化費	1,974,000	1,850,400	123,600
①会報発行費	804,000	796,200	7,800
②講演会等経費	20,000	8,676	11,324
③教育懇談会経費	50,000	49,820	180
④就職懇談会経費	400,000	327,800	72,200
⑤図書購入助成費	700,000	667,904	32,096
3.会議費	510,000	276,910	233,090
(1)総会費	300,000	155,210	144,790
(2)役員会費	200,000	117,000	83,000
(3)部会費	10,000	4,700	5,300
4.給付奨学費	6,705,000	6,595,000	110,000
5.災害対策助成費	1,500,000	1,490,400	9,600
6.地域連携助成費	2,500,000	2,430,348	69,652
7.予備費	3,738,118	3,400	3,734,718
合計	37,228,118	30,251,329	6,976,789

監査報告書

私たちは、2018年度後援会収支決算書を監査の結果、その適正であることを認めます。

監 事 鈴木 智子 ⑨ 監 事 池ヶ谷 千秋 ⑩

二、常任理事会

日時 二〇一九年四月二七日(土)
十二時三〇分〜十三時三〇分

議事

- （一）二〇一八年度事業報告の件
- （二）二〇一八年度収支決算及び監査報告の件
- （三）二〇一九年度事業計画案の件
- （四）二〇一九年度収支予算案の件
- （五）二〇一九年度役員改選の件
- （六）二〇一九年度定期総会の件

三、理事會

日時 二〇一九年四月二七日(土)
十三時三五分〜十四時十五分

議事

- （一）二〇一八年度事業報告の件
- （二）二〇一八年度収支決算及び監査報告の件
- （三）二〇一九年度事業計画案の件
- （四）二〇一九年度収支予算案の件
- （五）二〇一九年度役員改選の件
- （六）二〇一九年度定期総会の件

日時 二〇一九年六月十五日(土)

議事

- （一）二〇一九年度役員選出の件
- （二）二〇一九年度定期総会議案の件
- （三）教育個別面談その他行事の件

教育・就職個別面談

二〇一九年六月十五日(土)、定期総会に引き続き十三時から十六時三〇分まで、相模女子大学において開催しました。

学生の就職活動を支援する

就職を取り巻く状況の変化、情勢の革新に対応できるように、各種の講座やイベントを開催するための経費を助成しました。

- ・SPI対策模擬試験
- ・ビジネス実務マナー検定
- ・就職関連図書購入 等

学生の地域貢献活動を援助する

- 「地域連携助成費」として、本学が取り組んでいる地域連携活動に参加している学生や団体に対し、活動にかかる費用の一部を助成しました。
- ・福島県本宮市の活動
- ・佐渡伝統芸能体験 等

刊行物

会報四八号を三月に発行し、会員に送付、関係者に配付しました。

申意

会員のご不幸は大学四名、短期大学部一名でした。会則により弔慰を表わしました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ホームページをご利用ください！

会員の皆様と後援会をつなぐパイプの一つになればと思っております。よろしくお願いたします。

URL: <http://www.ssgami-wu.ac.jp/guideline/kouenkai/>

「就職に関する懇談会」開催のご案内

日時 二〇一九年十一月十六日(土)
会場 相模女子大学
対象 大学・短期大学部在学生の保証人
内容 講演・就職活動体験報告・個別面談等
今年度も、外部より講師を招聘しての講演会を企画しております。他

にも、就職が内定した学生による就職体験報告や内定学生との懇談会、就職支援課職員による個別面談等の企画を準備しております。ご父母の皆様がご息女の就職活動を理解する一助として、ぜひお出掛けください。ご案内状はあらためてお送りいたします。多くのご父母のご参加をお待ちしております。

クリスマスイベントを開催します

後援会のクリスマス企画として、本学のクラブによる演奏会を予定しております。
日時 二〇一九年十二月中旬
十二時一〇分〜十三時
会場 夢をかえるセンター二階
カフェテリア101

二〇一九年度事業報告

二〇一九年度、既に実施した事業は次の通りです。

会議等

- 役員会等
- 一、会計監査

日時 二〇一九年四月二七日(土)
十時〜十一時

相模女子大学 短期大学部 に対する援助

学生の課外活動の充実と活性化を図る

二一のクラブ・委員会に対し、活動に必要な用品の購入経費の一部を助成しました。

2019年度 収支予算書

2019年4月1日から
2020年3月31日まで

相模女子大学 後援会
相模女子大学短期大学部

収入予算額 42,556,813円
支出予算額 42,556,813円

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較増減(△)(A-B)
1.会費	35,930,000	32,680,000	3,250,000
2.寄附金	0	0	0
3.雑収入	30	30	0
4.前年度繰越金	6,626,783	4,548,088	2,078,695
合計	42,556,813	37,228,118	5,328,695

※本年度会費 大学・短大 3,593名×10,000円 = 35,930,000円

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較増減(△)(A-B)
1.事務費	2,411,000	2,291,000	120,000
(1)印刷製本費	560,000	560,000	0
(2)消耗品費	30,000	30,000	0
(3)通信費	1,321,000	1,201,000	120,000
(4)弔慰費	250,000	250,000	0
(5)旅費交通費	150,000	150,000	0
(6)渉外費	20,000	20,000	0
(7)雑費	10,000	10,000	0
(8)業務費	70,000	70,000	0
2.事業費	19,674,000	19,984,000	△ 310,000
(1)学生関係費	15,410,000	16,110,000	△ 700,000
①課外活動助成費	2,700,000	2,700,000	0
②福利厚生助成費	6,400,000	7,100,000	△ 700,000
③学生指導助成費	10,000	10,000	0
④就職対策助成費	6,300,000	6,300,000	0
(2)行事費	2,100,000	1,900,000	200,000
①大学祭等助成費	800,000	800,000	0
②卒業記念パーティ助成費	1,300,000	1,100,000	200,000
(3)文化費	2,164,000	1,974,000	190,000
①会報発行費	994,000	804,000	190,000
②講演会等経費	20,000	20,000	0
③教育懇談会経費	50,000	50,000	0
④就職懇談会経費	400,000	400,000	0
⑤図書購入助成費	700,000	700,000	0
3.会議費	510,000	510,000	0
(1)総会費	300,000	300,000	0
(2)役員会費	200,000	200,000	0
(3)部会費	10,000	10,000	0
4.給付奨学費	7,450,000	6,705,000	745,000
5.災害対策助成費	2,000,000	1,500,000	500,000
6.地域連携助成費	3,000,000	2,500,000	500,000
7.予備費	7,511,813	3,738,118	3,773,695
合計	42,556,813	37,228,118	5,328,695

「娘と私の大学生活。親の私ができる事」

学芸学部 日本語日本文学科四年 父母
「今しかない今を楽しめ」百年桜の木の前でフレッツシャーズスーツを着た娘に言いました。「部活！私、部活作るよ！」「図書館のお手伝いした」娘は大学を思いつき楽しんでいました。

学芸学部 生活デザイン学科三年 父母
「今」だから、私ができることは百年桜の木の前で娘に言った事と同じ「今を楽しむ」じゃないかと思ってしまう。あと残り一年どんな楽しい大学生の【今】が待ってるか楽しみます。

学芸学部 栄養科学部二年 父母
「感謝いっぱい」
生活デザイン学科三年 父母
今回初めて定期総会に参加しました。地方ということではなかなか足を向けることが出来ませんでした。娘も三年生になり就活のお話も聞きたいと思いついて参加することにしました。

学芸学部 健康栄養学科二年 父母
娘の大学入学を機に、久しぶりに大学の門をくぐった。女子大学ということもあってか、自分たちがいたキャンパスとは印象は異なる。しかし、キャンパスに広がる熱気は、今も昔も変わることがなく、懐かしさを感じた。自分の学生時代を振り返ってみてみた。

学芸学部 英語文化コミュニケーション学科年 父母
元号が平成から令和となった今年度、初めて総会に出席いたしました。梅雨の悪天候でしたが、大学内の緑の多さ、木々の大きさに感動いたしました。総会資料を拝見して、在学生の人数が多いので予算が大きな金額になるのだな、と思いました。総会の質問・意見コーナーで気になることがありました。

facebook
https://www.facebook.com/sagami.wu

Twitter (@sagami_wu)
https://twitter.com/sagami_wu

学芸学部キャラクター
「さがつば・ジョー」も、つぶやいています。

Twitter (@SagamiCharacter)
https://twitter.com/SagamiCharacter

相模女子大学 学芸学部キャラクター
さがつば・ジョー

自己SHOWの
性格 とても温厚で人懐っこい
年齢 精のため不明
誕生日 10月18日
友達 ハニラ(やぎ)、カモ
好きな食べ物 抹茶
好きな花 マーガレット
趣味 古い
職業 作家

@SagamiCharacter

あんまり楽しそうに話すので試験どうだった？って聞くのを忘れました。娘が大学生でいるのは【今】だから、私ができることは百年桜の木の前で娘に言った事と同じ「今を楽しむ」じゃないかと思ってしまう。あと残り一年どんな楽しい大学生の【今】が待ってるか楽しみます。

学芸学部 生活デザイン学科三年 父母
今回初めて定期総会に参加しました。地方ということではなかなか足を向けることが出来ませんでした。娘も三年生になり就活のお話も聞きたいと思いついて参加することにしました。

学芸学部 健康栄養学科二年 父母
娘の大学入学を機に、久しぶりに大学の門をくぐった。女子大学ということもあってか、自分たちがいたキャンパスとは印象は異なる。しかし、キャンパスに広がる熱気は、今も昔も変わることがなく、懐かしさを感じた。自分の学生時代を振り返ってみてみた。

学芸学部 英語文化コミュニケーション学科年 父母
元号が平成から令和となった今年度、初めて総会に出席いたしました。梅雨の悪天候でしたが、大学内の緑の多さ、木々の大きさに感動いたしました。総会資料を拝見して、在学生の人数が多いので予算が大きな金額になるのだな、と思いました。総会の質問・意見コーナーで気になることがありました。

学園だより



学長 風間 誠史

「学生の学びを支えるために」

今年度、本学は、創立以来最も多くの新入生を迎え入れました。巷間報道されている通り、東京23区内の大学が定員厳格化を余儀なくされた余波という面はありますが、多くの受験生に本学を選んでいただけただけことは、大変ありがたい、また嬉しく思っています。

ただ、それ以上に今回私にとって印象に残ったことがあります。それは新入生数が増えることが確実に増えつつある段階で、教職員から「学生数が増えても教育の質を下げないようにしなければいけない」「入ってくる学生を失望させてはいけない」という声が自然と挙がったことです。そして授業の教室配当やクラス数の見直し、それに伴う非常勤講師の手配などに直ちに取組む、また学生の居場所を確保するため、自由に学習や会話ができるスペースと設備の手当て、さらに学食の混雑を見越して昼食提供場所を増やすなど、

さまざまな部門で実行可能な対策を講じてまいりました。地方からこちらに来て色々な人達に出会うことができたおかげで今があるのだと思います。残りの大学生活を大切に自分の希望の事につけるように頑張ってください。私たちが離れているけどできる限り力になります。どうぞこれからもよろしくお願ひします。

学芸学部 英語文化コミュニケーション学科年 父母
「令和」に元号が改まりました。この出典となった『万葉集』「梅花歌序」は、それよりも前に中国で成立した王羲之「蘭亭序（らんていのじよ）」や張衡「帰田賦（きでんのふ）」を模倣する形で成立しています。では、その作品をコピーだと笑うべきなのでしょうか。いいえ、奈良時代には、如何に優雅かつ思慮深く先人達の傑作を模倣するかが、作品の優劣を決定づけたのです。独自性（オリジナリティ）を重視する現代の私たちとは、正反対の価値観です。

現代の私たちとは全く異なる価値観や常識をもつ人々を見つめることで、彼らの価値観や常識を我が物として理解し、彼らの立場に成り代わってその作品を読むというのが、古典文学研究です。この意味では、紛れもない「他者理解」であり、他者の中に優れた部分を見つけ、それを自己の中に取り込み、そうすることで自己を拡大する古典文学のプロセスそのものは、真の「異文化交流」となるでしょう。

日本語日本文学科は「異文化」すなわち「他者」を理解するコ

日本語日本文学科から



学科長 山田 純

「令和」に元号が改まりました。この出典となった『万葉集』「梅花歌序」は、それよりも前に中国で成立した王羲之「蘭亭序（らんていのじよ）」や張衡「帰田賦（きでんのふ）」を模倣する形で成立しています。では、その作品をコピーだと笑うべきなのでしょうか。いいえ、奈良時代には、如何に優雅かつ思慮深く先人達の傑作を模倣するかが、作品の優劣を決定づけたのです。独自性（オリジナリティ）を重視する現代の私たちとは、正反対の価値観です。

現代の私たちとは全く異なる価値観や常識をもつ人々を見つめることで、彼らの価値観や常識を我が物として理解し、彼らの立場に成り代わってその作品を読むというのが、古典文学研究です。この意味では、紛れもない「他者理解」であり、他者の中に優れた部分を見つけ、それを自己の中に取り込み、そうすることで自己を拡大する古典文学のプロセスそのものは、真の「異文化交流」となるでしょう。

日本語日本文学科は「異文化」すなわち「他者」を理解するコ

でした。意見としては、授業料の半額も給付するのは：ということですが、では、奨学金給付金申請をせずにアルバイトなり働いて収入を増やして、自身で用意したら良いのでしょうか？学生自身の収入を増やすと増えた分にもなっており、それぞれ所得基準は異なりますが、所得税、住民税の納付義務が発生し、社会保険においては、健康保険は、扶養から外れ国民健康保険加入納付、国民年金は、学生納付特例却下となり、国民年金納付となります。学生は、働きすぎないほうが良いのではと思います。半額補助を受けることで安心して勉強できる手伝いができると思つて、納得いただけないでしょうか。

二つ目は、防災備品の購入、廃棄についてです。現在消費期限の切れたものは、期限が切れる前に学生に配布するのではなく、廃棄処分をしていて廃棄費用がかかっている。ということでした。長期の保存で汚れていて、汚いまま配布するわけにいかないのです、綺麗にするのがたいへんなので廃棄しているということでした。防災備品の保存は、どんな場所に保管しているのか、使用するときには衛生的に使用できるのか、不安になりました。できましたら、衛生的な場所での保管していただき、消費期限が切れる前に学生に味見の機会を設けるとか、水は飲むだけでなく、さまざまな用途があるので消費期限が切れても雑水として保管

ミユニケーションの真髄を学ぶ場です。文書行政国家の日本において、他者理解を伴いながら優れた文章が書けるということは、これからの時代の大きな力となるでしょう。学科はその学びを全力で支援いたしますので、どうかよろしくお願ひいたします。

英語文化コミュニケーション学科から



学科長 九里 徳泰

昨年度も就職率一〇〇%を達成し、近畿日本ツーリスト関東、加賀屋、ANASカイビルサービス、大和ハウス工業といった観光系企業、業界大手企業の総合職や英語教諭などに進路が決まりました。学生活動では、神奈川県産学チャレンジコンテストで最優秀賞を受賞し、オリンピックトレーニングでのボランティアを行うなど目覚ましい活躍がありました。新年度には募集定員（一二〇名）を大幅に超える一五一名の新入生を迎えました。

本年度は「新カリキュラム」に刷新。異文化間の橋渡しを担う「グローバル人材」育成を掲げました。その特色は「全員留学（語学研修）を目指す。二、四年間すべての学年でゼミナール・講

座に所属。三、身につく英語一年次四二四・五時間(高校三年間に当たる)。四、充実したインターンシップ・キャリア教育、となります。更なる英語学習の機会の充実のため、英文科PC室には三〇台の最新のパソコンを導入しオンライン英会話が随時できるように整備しました。新カリキュラムの実践により、これまで以上に「学生の夢を実現する」学科運営に心がけております。

子ども教育学科から

学科長

大竹 紀子



子ども教育学科について自信を持って言えることは、子どもに関連する分野および各教科のスペシャリストがそろっているということです。国際性、特別な支援、ICTなど現代に不可欠な視野をもった教員たちが多彩な授業を繰り広げています。また、様々な授業を通して、キャンパス内の幼稚園や小学部の子どもたちと自然に触れ合うこともできます。障がいをもった子どもたちと出会えるボランティア活動、ステージでの表現活動などを体験できるのも大きな魅力でしょう。子どもを取り巻く環境について考え、専門的に学ぶことにより学生が自分自身の可

能性を発見できると考えています。学生募集に関しては昨年度から学科独自の事前相談を含む新しいAO入試のシステムを整え大きな成功をおさめました。そして、昨年度も就職率は一〇〇%を達成しました。すでに多くの卒業生が仕事に就き、子どもたちが夢と希望をもって歩むことができる社会を創ることに貢献しています。今年度からは特別支援学校教員養成課程も始まります。多様な子どもたちを受け止め、包み込む。真にインクルーシブな教育・保育・福祉の専門家養成を目指してこれからも励んでまいります。

メディア情報学科から

学科長

田畑 雅英



メディア情報学科では、学生がメディアと文化・社会についての幅広い視野をもって、メディアコンテンツの制作や研究を行なうことができるよう、日々の教育と環境の整備に努めています。

学科の最近のニュースとしては、本学科学生が企画・制作した「自分らしく生きさせて」が、マジックインキという身近な道具を用いてLGBTの問題を表現し、第十五回ACジャパン広告学生賞テレビCM部門の優秀賞を受賞し

科の強みとなっています。ぜひ、社マネの学生、そして取り組みにご注目ください。

人間心理学科から

学科長

伊東 俊彦



人間心理学科では、本年度入学より、心理職の新たな国家資格である公認心理師国家試験受験資格に対応した新たなカリキュラムをスタートしました。また、本年度は、従来より設置している社会福祉士課程の一期生が、初めて国家試験受験に挑む年でもあります。新たな気持ちで入学してきた新入生に対し心理学を体系的に学んでいけるよう今までも増して丁寧な学びを実現するとともに、社会福祉士国家試験に向け頑張っている課程の学生に対し、合格に向けて必要な支援を惜しまず努力してまいります。

人間心理学科は、心理学や社会福祉学の専門知を学べることはもちろんですが、それ以外にも哲学や倫理学、文化人類学などを専門的に学べるカリキュラム構成になっており、様々な角度から人間という存在のあり方を多角的に理解することができるのが他の心理学科にはない本学人間心理学科の大きな特徴となっております。

うしたカリキュラムの特性を活かして、今後とも幅広い視点と柔軟な感性をもって地域社会や企業の中で活躍できる人材を育てていきたいと考えております。どうぞ、引き続き一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

健康栄養学科から

学科長

岡部 とし子



健康栄養学科は「人の健康に食分野から幅広くアプローチ」をテーマに、栄養士養成科目を中心に「食・栄養・健康」に関する科目を学ぶことにより、物事を幅広くとらえ社会で活躍する人材の育成を目指しています。今年度は鶴崎義徳先生と坂野麻里子先生を新たに迎え、専任教員十三名と実験実習助手五名の体制で学生教育を担っています。

四年間の学生生活では、講義や実験実習だけでなく、キッズブックキング、実業団女子サッカーチームの栄養サポートなどに加え、学科横断プログラム『食品開発と流通ビジネスプログラム』で消費や流通について他学部の専門の先生方から学び商品の開発を実践している学生や、地元企業との商品開発や宇宙日本食開発に参加している学生もいます。また、家庭科教

ました。また、神奈川県と県下の十市町が、東海道新幹線の新駅設置運動を展開していますが、その依頼により、加西市町の魅力を紹介した全十六ページのカラーパンフレット「かながわ県央・湘南魅力発見旅！」の取材・撮影・編集に十八名の本学科学生が全面的に協力しました。この活動は相模女子大学の「課外活動奨励賞」を受賞しています。学内では、教務課との連携で、科目履修登録方法をわかりやすく解説する動画の制作を本学科の学生たちが行い、すでに利用に供されています。これらの活動は、教員が助言や指導を行ってはいませんが、学生の自主性が発揮され、すぐれた成果をあげました。

生活デザイン学科から

学科長

門屋 博



生活デザイン学科では、この春からテキスタイルデザインを専門

論や栄養教諭の免許取得を目指す学生もいます。卒業後は四年間の学びや活動を活かして保育園の栄養士として就職する学生が多いのも学科の特徴の一つで、家庭科教諭も含め、昨年度の就職率は一〇〇%でした。

管理栄養学科から

学科長

樋川 直司



九年ぶりに学科に戻り、一年ほどが過ぎました。以前に比べ、教育研究以外に教員が行う仕事が増え、教員の負担が増加しているのを実感しております。とはいえ管理栄養学科の教員は、学生の教育・指導に大変熱心で、授業外での指導も他の教員と連係しながら時間をかけて行っております。その結果からか、管理栄養士国家試験の合格率も受験生数を考慮すると満足できるものとなっております。このような教員の熱心さや協力関係は、本学科の持つ管理栄養士を育成するという共通の目標から生まれるものと思われ、資格取得を

とする牛尾卓巳先生を迎えることとなりました。テキスタイルの国際的な賞を受賞するなど、現役で活躍中のデザイナーの先生です。牛尾先生を迎えることにより、学科の教育に、さらに専門性と作家性が加わることでしよう。

さて、私たちの学科は短大から四年制に移行し三回目の卒業生を社会へ送り出しました。デザイナーとして社会へ出て、大変だけれども充実していると、報告がてら研究室へ遊びにくる卒業生も増えてきました。大学での学びが、実社会でも役に立っているとのこと、実務家教員による、少人数教育の成果として、大変うれしく感じているところです。

また、学科での学びの集大成である卒業制作展ですが、昨年度までは相模大野駅近くのユニコムプラザにて行ってきましたが、本年度は大学内の「夢をかなえるセンター」3Fで行う予定です。卒業制作展の会場は変わりましたが、学生作品の常設展示は、ユニコムプラザにて従来通り行っています。季節ごとに作品を入れ替えていますので、卒業制作展と合わせてお越しいただけると幸いです。

目指す学生を育てる学科の良いところでは、しかし、それに答えてくれるはずの学生はどうかというところ、こちらの意図とは異なった反応や結果を示す学生も少なくありません。決められたことをきちんとやらなければならぬ学科の宿命で、嫌いなことはやりたくない学生は、学科の学びがいやになる傾向があります。このような学生を良い方向に導くには、一年次の動機付けが肝心と考え、その手始めとして一年生向けに学びへの心構えやその有用さを伝えようとしているところがございます。

食物栄養学科から

学科長

清家 正博



本年度、食物栄養学科は二二一名の新入生を受け入れることができました。また新たな教員も五人お迎えしました。食品衛生分野の教授として東京都立衛生研究所に勤務されていた平井昭彦先生、実験実習助手として在学生とほぼ同年代でその立場や心情がわかる佐々木ちひろ先生、吉田沙紀先生、菊野彩香先生、山田華月先生です。こうした新たな雰囲気のおかげで、年間という限られた時間で、高度かつ専門的な知識を有し、栄養と食を通して健康の維持・増進に積

社会マネジメント学科から

学科長

井坂 聡



社会マネジメント学科が一番重視していることは「実践」です。大学で学んだことを、学外の様々な方々と関わりながら実践に移し、その体験を通して社会性(社会マネジメント力)を身につけることを目標としています。大学全体でも地域協働活動に積極的に取り組んでおりますが、元々は社マネ(学科の通称)の活動が礎となっており、現在も社マネの学生を中心に活動が行われていると言っても過言ではありません。物おしせずに積極的に外に出ていって、幅広い世界とのふれあいの中で自分を成長させる。それが社マネの学生の特徴です。その結果として、就職活動におけるプレゼン能力の高さは学内外で高い評価を受けています。

昨年も記しましたが「社マネはビュッフェスタイルのカフェテリア。学生が自分の興味に応じて科目を自由に組み合わせることが出来る場」です。地域連携、商品開発、広報、法律、経済、福祉、映像制作など、様々な専門分野の教員が、横の連携を取りつつ、多角的に学生の指導に当たれるのも学

極的にかかわる栄養士の養成を目指します。新しいカリキュラムも、実施二年目を迎えています。新設した「栄養士入門講座」や「食物基礎実験」、充実させた「調理学実習」、学習意欲向上を謳う「認定試験直前対策講座」などの効果があらわれるのも期待するところでは、就職状況に関しては引き続き好調です。来春も、新カリキュラムの成果をもって、「さすがサガジヨの卒業生、信頼できる」とのお言葉を賜ることができるようにはないかと、胸を躍らせています。後援会の皆様方におかれましても、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大学院栄養科学研究科から

研究科長

嶋田 昌子



大学院栄養科学研究科は本年度、博士前期課程に三名の新入生と嵐雅子、鶴崎美徳、坂野麻里子先生を新たにお迎え致しました。文部科学省の設置認可を受けてから早十年、教員一同気持ちも新たに教育・研究の指導に邁進していく所存でございます。さて、「博士」の学位の有無が給与や雇用率に歴然とした差を生む欧米とは全く異なる日本社会において、大学院でさらに学問の研鑽を積み現実的メ

新任教員紹介

日本語日本文学科准教授



金井 喜一郎
主な担当科目
情報資源組織演習

リットは何でしょうか。第一に、日本の一流企業は国際競争に勝ち残る為に修士を学士よりも優先して雇用する傾向にあり、「修士」の学位は高等教育・研究機関に加え、こうした企業への就職、転職を有利にします。第二に、三〇代以降、行き詰まりがちな女性のキャリアをさらにアップしていくには、自ら「発想」して問題を発見し、エビデンスに基づく論理的思考にて解決、結果を社会に広く発信する方法を習得する為の大学院での研究経験が必要です。修士博士といった学位取得に人生の先行投資をすることは将来の飛躍への鍵といえます。本研究科は、社会人がより学びやすい大学院として入試制度、長期履修制度を整備しております。後援会の皆様におかれましては、本年もどうぞ宜しくご支援のほどお願い申し上げます。

には、相模女子大学で学べてよかった!と思っていただけのように頑張りたいと思います。

生活デザイン学科准教授



牛尾 卓巳
主な担当科目
テキスタイル
デザイン演習

四月に着任いたしました牛尾です。私の専門であるテキスタイルデザインは、日常で最も身近に接する「布」をデザインする分野です。デザインする上で視覚的要素だけでなく触覚的要素も重要になります。実習を通して素材に触れ、手を動かすことで多くの発見をし、デザインに生かしてもらいたいと思います。自由に発想しそれぞれの才能を伸ばしていける環境づくりと指導を目指しています。どうぞよろしくお願ひいたします。

健康栄養学科准教授



鶴崎 美徳
主な担当科目
食品学総論

四月に本学栄養科学部健康栄養学科に着任いたしました。食品学総論・各論、食品機能論等の講義を担当しております。これまで、外資系企業、横浜市立大学医学部、神奈川県立子ども医療センター臨床研究所にて勤務しており、主に遺伝医学に関する研究に携わってきました。大学での講義に関して

は、まだまだ不慣れで勉強の毎日ですが、これまでの経験を活かし、楽しく分かりやすい授業を心掛けたいと思います。宜しくお願ひ致します。

健康栄養学科准教授



坂野 麻里子
主な担当科目
食品加工学実習

四月から着任致しました坂野(ばんの)です。担当科目の食品加工学実習では、身近な加工食品を実際に製造することで、完成するまでのプロセスを科学的に学んでもらいたいと考えています。久しぶりに不安と期待の入り交じった、転校生の様な気持ちで日々過ごしております。この気持ちを忘れることなく、何事にも取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

管理栄養学科講師



今井 敦子
主な担当科目
臨床栄養管理学

総合病院の管理栄養士、管理栄養士養成校の助教を得て、本学管理栄養学科に着任致しました。素晴らしい教育・研究の環境を与えて頂いたことに、心より感謝しています。管理栄養士が医療・介護で果たすべき役割は益々広がっています。これからの管理栄養士

近況報告

後援会事務局より

大学事務部 学生支援課長

高柳 誠



後援会会員の皆様には日頃より本学の教育研究活動および学生様の様々な活動に際しまして多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。また、先日(六月十五日)は後援会定期総会を開催し、多くの会員の皆様にご出席いただきました。本学の活動にご理解賜りましたこと、重ねて御礼申し上げます。後援会の年間行事の中で、定期総会以外には就職に関する懇談会を十一月に予定しております。学生を取り巻く就職環境に対応し、親としてのように関わっていくのかを教職員と一緒に考えて考える機会となっております。ご息女の将来を真剣に考え、向き合われるその姿を目にし、親とは有難い存在であることを改めて感じております。しかしこのような機会も

遠方にお住まいの方、お仕事等の事情により欠席をやむなくされた方もおられますので、この会報を通じて本学の取り組みや後援会の活動をできる限りお伝えしたいと思います。さて、学生支援課では、各種奨学金をはじめ、大学生活における課外活動等の支援を行っております。奨学金では「後援会給付奨学金」として後援会より経済的支援を賜っております。奨学金を申請する学生達はご家庭の状況をよく理解しており、ご父母の一生懸命働く姿を見て自らも家計の手助けになればとアルバイトをし、それでも成績を下げることなく学業に励んでおります。しかし上位学年になると卒業研究や就職活動によって繁忙となり、アルバイトとの両立は難しくなります。そのような学生達にとって、後援会給付奨学金は大変な助けになります。また、課外活動ではクラブ・委員会の活動に必要な備品の購入、大会参加費、交通費など、多大に援助いただいております。学生の保護者でもある後援会役員の方々は大変熱心で、学生の成長のため、ひいては大学の発展のために後援会として何ができるのかをいつも考え、提案してくださいます。このような役員の方々をはじめ、定期総会等でお目にかかる後援会会員の方々の姿を見て、子へ対する親の想い、愛情を深く感じております。今後も役員の方々と共に後

援会の在り方を考え、よりよい活動へと繋げて参りますので、引き続きご支援賜りますこと、心よりお願い申し上げます。

学習支援の取り組みについて

大学事務部 教育研究支援課長

古越 奈央



後援会会員の皆様には日頃よりご支援を賜り、感謝申し上げます。教育研究支援課では、附属図書館の運営と教員を主な対象とした授業支援・研究支援をしています。授業では、「マナバ」という教育支援システムを本年度より本格的に導入しました。

このシステムは、学生が受講している授業科目の教材をシステムからダウンロードしたり、担当教員と課題やレポートのやり取りをしたり、グループ学習等でコメントのやり取りをしたりする機能があり、効果的な学習の一助になるものと期待しています。

の在り方と栄養療法の発展のためにすべきことについて、学生さんと共に考えて参ります。

食物栄養学科教授



平井 昭彦
主な担当科目
食品衛生学

四月より食物栄養学科へ着任いたしました平井です。ご縁があり、都会の中で自然豊かなこのキャンパスへ通えることを大変うれしく思っております。

東京都で仕事をしていた頃、栄養士で食品衛生監視員として活躍している同僚がおり、さすがに食のプロだな、と感心していました。学生さんたちにも食品衛生に関わる分野に興味を持ってもらい、栄養士の活躍の場が更に広がるよう、現場での経験を伝えていきたいと思っています。新米ではありませんが、私自身も努力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

学生が主体的に取り組む地域連携活動

夢をかなえるセンター 部長

有田 雅一



本学は、社会とつながる教育活動の展開をビジョンに掲げ、各学科の取り組みに加え、全学生が参加できる課外活動においても、地域と連携した活動(学び)の場づくりを進めています。こういった活動は神奈川県内のみならず、北海道から九州まで全国各地に広がり、地域によって活動内容が様々で、学科・学年を問わずに参加できることもあって、参加する学生は年々増えています。

学生たちが、地域での活動を活発に行える背景には、後援会の皆様のご理解と地域連携助成費として、学生の交通費など活動に係る費用の一部をご支援いただいていることがあります。昨年度、補助をいただいた活動は、相模原市内での活動の他に福島県本宮市、新

潟県佐渡市、三重県熊野市、福岡県糸島市といった国内での活動、また、「海外へ子ども用車椅子を届けよう」プロジェクトとしてのラオス訪問など、多岐に亘ります。

近年は、こういった訪問をきっかけに、活動を通してお世話になった地域と継続的に関わりたいという学生が参加するプロジェクトチームが生まれ、主体的に新たな取り組みを始めています。昨年は、熊野市との交流をきっかけに立ち上がった「丸山千枚田魅力発信プロジェクト」が、東京日本橋にある三重県のアンテナショップ「三重テラス」にて地域の魅力を伝えるイベントを行い、また、本宮市との連携から始まった「本宮スマイルプロジェクト」が、伊勢丹相模原店の協力を得て、福島県の安心・安全な野菜をPRするイベントを行った他、東日本大震災の後、定期的に岩手県大船渡市を訪問している復興支援学生ボランティア委員会の学生が、大船渡市で行われるビジネスプランコンテストで最優秀賞を受賞する等、各プロジェクトチームの学生が自ら活動の場を広げ、活躍しているのは我々としても心強い限りです。

夢をかなえるセンターでは、学生が学生生活で自ら取り組みたい「夢」を応援するため、今後も多くの「学びの場」を提供してまいりますので、学生の皆さんの積極的なご参加をお待ちしております。

就職状況報告

後援会会員の皆様には日頃より就職支援に多大なるご支援を賜り感謝申し上げます。

二〇一八年度就職決定状況

二〇一八年度就職決定率は大学が九八・七％、短期大学部が一〇〇％（四年連続）となりました。私立大学の全国平均が九七・七％（文部科学省・厚生労働省調査）、短期大学の全国平均が九八・六％（同調査）ですから、どちらも全国平均を上回る結果となりました。また、大学はすべての学科で九五％以上となり、売手市場ということもあって昨年度以上に高い水準の就職率となりました。

就職先もメーカーや商社、建設、輸送、流通、金融、情報通信、サービス、公務など様々な業種で採用して頂きました。

二〇一九年度以降の就職活動状況

大学四年生および短期大学部二年生の就職活動スケジュールは昨年度同様で、採用情報公開が三月解禁、選考開始時期が六月となっております。また、大学三年生および短期大学部一年生については、経団連が就活ルールの廃止を決定したことに伴い、政府が連名で経済団体等に対して現行と同じ日程の遵守を要請している状況です。しかし、経団連に加盟していない企業などは既に内定の時期を早めるなどの動きをみせており、今後はさらに就職活動の早期化が懸念されます。

最近はインターンシップを実施する企業が増加しており、大学三年生や短

学内で収穫した梅の実で作られた梅酒「翠想（すいそう）」を、今年も数量限定で販売します

学生が大学構内で収穫した梅が地元の高久保田酒造株式会社で「相模灘純米吟醸」と出会って生まれた、こだわりの梅酒が完成しました。今年も、相模原市観光協会の協力を得て、相模大野駅前にあるポーノ相模大野にて販売されます。

◆場所 ポーノ相模大野
ショッピングセンター二階
「Saganix サガミックス」
◆販売開始 九月中旬
月～日曜日 十時～二時
※なくなり次第終了(二〇〇本限定)

ルミネ大船店「うまいもん大学」へ出展します

ルミネ大船店で開催されるイベントにて、鎌倉・湘南の地産地消をテーマに、株式会社銀座甘楽と本学の学生が共同開発した限定商品を販売します。

◆場所 大船ルミネウイング
三階 正面入口前
◆日時 二〇一九年十月十九日（土）、二十日（日）
十時～十八時（二十日は十七時まで）

※なくなり次第終了

本学の学園祭(相生祭)にて、第十二回地域物産展を開催します



昨年販売したわらび餅どら巻

地域との交流活動や地元の特産品を使った商品開発など、本学における地域連携の輪は日本各地へと拡がっています。今年も相生祭において、連携する地域や企業・団体が学生と共に、日本各地の魅力ある商品を販売します。

◆場所 相模女子大学
◆日時 二〇一九年十一月三日（日）、四日（祝・月）
十時～十六時（四日は九時～十六時）



昨年の様子

二〇一九年度学年暦(大学)

秋学期Web履修科目登録期間	九月九日(月)～十二日(木)
秋学期Web履修科目確認日	九月十七日(火)
秋学期履修科目優先追加登録	九月十八日(火)～九月二十日(木)
秋学期履修開始	九月二十日(木)
秋学期履修科目追加・訂正期間	九月二十一日(金)～九月二十二日(土)
秋学期履修科目目録追加	九月二十三日(日)
創立記念日	十月十四日(月)
祝日(祝)休日	十月十四日(月)
祝日(祝)休日	十月十九日(土)
祝日(祝)休日	十月十九日(土)
秋学期前半授業終了	十月二十二日(土)
秋学期後半授業開始	十月二十五日(火)
秋学期最終授業および秋学期期末定期試験期間	十一月二日(水)～十一月八日(火)
秋学期Web履修科目登録期間(在学生)	十一月九日(水)～十一月十四日(火)
春学期Web履修科目登録期間(在学生)	十一月十五日(水)～十一月十八日(土)
春学期Web履修科目登録期間(在学生)	十一月二十日(金)～十一月二十二日(日)
春学期Web履修科目登録期間(在学生)	十一月二十五日(水)～十二月二日(火)
秋学期Web履修科目登録期間	九月九日(月)～十二日(木)
秋学期Web履修科目確認日	九月十七日(火)
秋学期履修科目優先追加登録	九月十八日(火)～九月二十日(木)
秋学期履修開始	九月二十日(木)
秋学期履修科目目録追加・訂正期間	九月二十一日(金)～九月二十二日(土)
秋学期履修科目目録追加	九月二十三日(日)
創立記念日	十月十四日(月)
祝日(祝)休日	十月十四日(月)
祝日(祝)休日	十月十九日(土)
祝日(祝)休日	十月十九日(土)
秋学期前半授業終了	十月二十二日(土)
秋学期後半授業開始	十月二十五日(火)
秋学期最終授業および秋学期期末定期試験期間	十一月二日(水)～十一月八日(火)
秋学期Web履修科目登録期間	十一月九日(水)～十一月十四日(火)
春学期Web履修科目登録期間(在学生)	十一月十五日(水)～十一月十八日(土)
春学期Web履修科目登録期間(在学生)	十一月二十日(金)～十一月二十二日(日)
春学期Web履修科目登録期間(在学生)	十一月二十五日(水)～十二月二日(火)

二〇一九年度学年暦(短期大学部)

秋学期Web履修科目登録期間	九月九日(月)～十二日(木)
秋学期Web履修科目確認日	九月十七日(火)
秋学期履修科目優先追加登録	九月十八日(火)～九月二十日(木)
秋学期履修開始	九月二十日(木)
秋学期履修科目目録追加・訂正期間	九月二十一日(金)～九月二十二日(土)
秋学期履修科目目録追加	九月二十三日(日)
創立記念日	十月十四日(月)
祝日(祝)休日	十月十四日(月)
祝日(祝)休日	十月十九日(土)
祝日(祝)休日	十月十九日(土)
秋学期前半授業終了	十月二十二日(土)
秋学期後半授業開始	十月二十五日(火)
秋学期最終授業および秋学期期末定期試験期間	十一月二日(水)～十一月八日(火)
秋学期Web履修科目登録期間	十一月九日(水)～十一月十四日(火)
春学期Web履修科目登録期間(在学生)	十一月十五日(水)～十一月十八日(土)
春学期Web履修科目登録期間(在学生)	十一月二十日(金)～十一月二十二日(日)
春学期Web履修科目登録期間(在学生)	十一月二十五日(水)～十二月二日(火)

☎電話番号案内☎

学生生活に直結する主な部署の電話番号は次のとおりです。何かありましたら、お気軽にお問い合わせください。

大学事務局
学修・生活支援課
〇四二・七四七・九六〇三

授業、試験、成績、課外活動、奨学金、休学、復学、退学等、学業および学生生活全般に亘る事務を担当しています。

学生相談室
〇四二・七四六・六六七二
学生生活の中で出会う様々な事柄についての相談を担当しています。

入試課

〇四二・七四九・五五三三
フリーダイヤル
〇二〇・八一六・三三三三
各種入学試験やオープンキャンパス等に関する事務を担当しています。

保健センター

〇四二・七四七・九〇七二
心身の健康に関する相談を担当しています。

夢をかなえるセンター

連携教育推進課
〇四二・八一三・五〇三八
地域連携活動、国際交流(留学・研修)等、正課外における学生の主体的な学びを担当しています。

就職支援課

〇四二・七四二・一七三三
就職や進路に関する相談を担当しています。

生涯学修支援課

〇四二・七四七・九〇一七
授業外の資格取得支援や生涯学修を担当しています。

企画です。

就職合宿

学外のセミナーハウスにて一泊二日で行われます。マナーやグループディスカッション、面接対策、履歴書の書き方など、より実践的な内容を学びます。

学内合同企業説明会

企業の採用担当者に学内にお越しいただき、ブース形式で説明を聞くことができます。OGのいる企業も多くお越し頂いています。最後となりますが、皆様の大切なお嬢様が希望の進路を叶えることができますよう、私たち職員一同、精一杯サポートさせていただきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

(就職支援課)

2018年度進路決定状況

(1)進路決定者数

	日文	英文	教育	メディア	デザイン	社会	心理	健康	管理	大学計	栄養	短大計
卒業生(A)	70	77	96	40	50	60	79	77	116	665	111	111
未登録、未報告他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1
大学院	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0
大学(編入学)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	10
専門学校	0	2	0	0	0	1	0	0	0	3	1	1
進学準備	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
家事従事	12	6	1	2	7	5	8	5	1	47	9	9
計	15	9	1	2	7	6	9	6	2	57	21	21
就職未決定者	2	0	0	0	1	2	2	0	1	8	0	0
就職決定者(B)	53	68	95	38	42	52	68	71	113	600	90	90
計(C)	55	68	95	38	43	54	70	71	114	608	90	90
希望率(C/A)	78.6%	88.3%	99.0%	95.0%	86.0%	90.0%	88.6%	92.2%	98.3%	91.4%	81.1%	81.1%
決定率(B/C)	96.4%	100.0%	100.0%	100.0%	97.7%	96.3%	97.1%	100.0%	99.1%	98.7%	100.0%	100.0%

(2)決定者の職種別内訳

	日文	英文	教育	メディア	デザイン	社会	心理	健康	管理	大学計	栄養	短大計
総合職	12	11	3	3	9	5	10	11	17	81	1	1
事務職	7	12	5	6	7	18	20	4	1	80	5	5
営業職	5	6	2	5	1	2	2	5	5	33	1	1
販売職	14	11	2	7	11	13	10	7	5	80	4	4
栄養士	0	0	0	0	0	0	0	34	6	40	69	69
管理栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	3	66	0	0
食品技術者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0
調理員	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	3
学校栄養職員	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0
保育士	0	0	41	0	0	1	0	0	0	42	0	0
保育教諭	0	0	10	0	0	0	0	0	0	10	0	0
介護職・生活支援員	0	0	1	0	1	0	2	1	2	7	0	0
教諭(幼稚園)	0	0	13	0	0	0	0	0	0	13	0	0
教諭(小学校)	0	0	12	0	0	0	0	0	0	12	0	0
教諭(中学)	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
教諭(高校)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
教諭(その他学習塾など)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
研究助手	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
設計職	0	0	0	0	3	1	0	0	0	4	0	0
製造職	1	1	0	0	0	0	0	2	3	7	1	1
サービス職	4	20	5	3	4	3	14	3	1	57	4	4
インストラクター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
エステティシャン	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	1	1
デザイナー	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0
SE	6	2	1	10	2	6	5	1	1	34	0	0
webデザイナー	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0
映像撮影者・AD・俳優	0	0	0	2	0	1	1	0	0	4	0	0
その他の専門職	0	1	0	2	0	0	0	0	1	4	0	0
その他	0	2	0	0	0	1	1	0	2	6	1	1
合計	53	68	95	38	42	52	68	71	113	600	90	90

2020年度 相模女子大学・相模女子大学短期大学部入学試験日程

大学院 大学	栄養科学研究科 (博士前期課程・博士後期課程)
	学芸学部 : 日本語日本文学科・英語文化コミュニケーション学科・子ども教育学科・メディア情報学科・生活デザイン学科
	人間社会学部 : 社会マネジメント学科・人間心理学科
	栄養科学部 : 健康栄養学科・管理栄養学科
短期大学部	食物栄養学科

試験制度	日程	願書受付期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
公募制推薦入試	A日程*1	郵送10月8日(火)~11月2日(土)消印有効窓口受付11月4日(月・休)まで	11月9日(土)	11月15日(金)	11月22日(金)
	B日程	郵送11月11日(月)~12月9日(月)消印有効窓口受付12月11日(水)まで	12月14日(土)	12月20日(金)	12月27日(金)
一般入試 【Web出願】	A日程*2	郵送1月8日(水)~1月22日(水)必着	1月25日(土)	1月31日(金)	2月7日(金)
	B日程	郵送1月8日(水)~1月29日(水)必着	2月2日(日)	2月8日(土)	2月14日(金)
	C日程	郵送1月30日(木)~2月14日(金)必着	2月19日(水)	2月22日(土)	2月28日(金)
	D日程	郵送2月10日(月)~3月2日(月)必着	3月5日(木)	3月8日(日)	3月13日(金)
大学入試センター 試験利用入試 【Web出願】	A日程	郵送1月8日(水)~1月17日(金)消印有効		2月8日(土)	2月14日(金)
	B日程	郵送1月8日(水)~2月7日(金)必着		2月15日(土)	2月21日(金)
	C日程C1方式 C日程C2方式	郵送2月10日(月)~3月2日(月)必着		3月8日(日)	3月13日(金) 3月19日(木)
同窓生特別推薦入試 (本学キャンパス)	A日程*1	郵送10月8日(火)~11月2日(土)消印有効窓口受付11月4日(月・休)まで	11月10日(日)	11月15日(金)	11月22日(金)
	B日程	郵送2月10日(月)~2月29日(土)消印有効窓口受付3月2日(月)まで	3月6日(金)	3月8日(日)	3月13日(金)

*学芸学部子ども教育学科では、同窓生特別推薦入試B日程を実施しません。 *栄養科学部では、公募制推薦入試B日程、同窓生特別推薦入試B日程、一般入試D日程を実施しません。
*短期大学部では、同窓生特別推薦入試B日程を実施しません。 *大学院入試およびAO入試についてはホームページをご参照ください。
※1 公募制推薦入試A日程と同窓生特別推薦入試A日程は、2019年11月9日(土)に仙台市、新潟市、長野市、静岡市、那覇市の5都市の地区会場でも実施します。(管理栄養学科のみ地区会場と同窓生特別推薦入試を実施しません。詳細については、下記までお問い合わせください。)
※2 一般入試A日程は2020年1月25日(土)に地区会場(甲府市のみ)でも実施します。

【同窓生特別推薦入試について】

次の①から⑥の条件を満たし、責任をもって推薦できる⑦、⑧のいずれかの者。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者または2020年3月卒業見込みの者。ただし、調査書の提出が可能な者に限る。
- ② 本学を第一志望とし、合格したら必ず入学する者(専願制)。
- ③ 調査書の全体の評定平均値が、条件を満たしている者(参照は受験ガイドp.22)。
- ④ [栄養科学部健康栄養学科] 上記に加え、高等学校もしくは中等教育学校時代に「生物基礎」および「化学基礎」を履修していること。
- ⑤ [栄養科学部管理栄養学科] 上記に加え、高等学校もしくは中等教育学校時代に「生物基礎」および「化学基礎」を履修していること。付帯事項:「生物」および「化学」を履修していることが望ましい。
- ⑥ [短期大学部食物栄養学科] 上記に加え、高等学校もしくは中等教育学校時代に「生物基礎」、「化学基礎」、「科学と人間生活」のいずれかを履修していること。
- ⑦ 本学卒業生または在学生の4親等以内にあたる者。(4親等以内とは子ども、姉妹、孫、姪、従姉妹などが含まれます)
- ⑧ 本学卒業生が現在高等学校もしくは中等教育学校の教員(専任・臨時)または講師(専任、非常勤)として教育した者で、学校長の推薦を受けた者。なお、非常勤講師からの推薦の場合は、学校長の推薦のほかに受験生の担任教員もしくは進路指導部長の推薦も併せて必要になります。
※「化学基礎」は、農薬科・食品科学科・工業科等の専門学科で履修する「食品化学」、「工業化学」に置き換えることができます。

【編入学試験について】実施学部:学芸学部・人間社会学部(栄養科学部の編入学試験[7月試験]は実施しました)

願書受付期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
郵送10月8日(火)~11月2日(土)消印有効窓口受付11月4日(月・休)まで	11月9日(土)	11月15日(金)	11月22日(金)
郵送1月14日(火)~2月3日(月)消印有効窓口受付2月5日(水)まで	2月12日(水)	2月15日(土)	2月21日(金)
郵送2月6日(木)~2月29日(土)消印有効窓口受付3月2日(月)まで	3月6日(金)	3月8日(日)	3月13日(金)

【入試説明会】

[日程] 10月12日(土)、11月3日(日・祝)・4日(月・休)・12月14日(土)
[時間] 10月・12月:14:00~16:00 11月:10:00~15:00
[内容] 入試に関する説明、キャンパス見学、個別入試相談など

◆オープンキャンパス◆
9月22日(日) 10:00~15:00
11月30日(土) 12:00~15:00
学科説明・各種個別相談・キャンパスツアーなど

【お問合せ先】大学事務部入試課 フリーダイヤル 0120-816-332 / 042-749-5533

〈お問合せ・願書窓口受付時間〉平日9:00~17:00 土曜日9:00~12:30

相模女子大学 後援会会則

第一章 総則

- 第一条 本会は相模女子大学、相模女子大学短期大学部後援会という。
- 第二条 本会の事務所を神奈川県相模原市南区文京二丁目相模女子大学内におく。
- 第三条 本会は会員相互の親睦を図ると共に大学の教育研究活動、学生の福利厚生、課外活動等を後援し、もつて大学の発展を期することを目的とする。

第二章 事業

- 第四条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。
 - (1) 大学の教育研究活動の後援
 - (2) 学生の福利厚生に関する援助
 - (3) 学生の課外活動に対する援助
 - (4) 講演会、研究会、教育懇談会等の開催
 - (5) 刊行物の発行、配布
 - (6) その他、本会の目的達成に必要な事項
- 第五条 本会は前条の事業運営のため次の部をおく。
 - (1) 総務部 / 総会・役員会等の招集、会議の記録、企画・調査・渉外等
 - (2) 事業部 / 福利厚生、課外活動、講演会、研究会、教育懇談会、会報の作成等
 - (3) 会計部 / 予算・決算・会費の徴収等

第三章 会員

- 第六条 本会の会員は次のとおりとする。
 - (1) 正会員 学生の父母または保証人

- (2) 賛助会員 卒業生の父母または保証人、本会の役員会の推薦する者。

第四章 役員

- 第七条 本会に次の役員をおく。
 - (1) 会長 一名
 - (2) 副会長 二名以内
 - (3) 常任理事 三名以内
 - (4) 理事 八名以上十名以内
 - (5) 監事 一名

- 第八条 役員は次のとおりとする。
 - (1) 会長は本会を代表し、会務を統括する。
 - (2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
 - (3) 常任理事は会務並びに事業の執行にあたる。また、会長の諮問に応ずる。
 - (4) 理事は本会の事業計画・予算・事業報告・決算その他重要事項を審議する。
 - (5) 監事は事業並びに会計の監査にあたる。

- 第九条 役員は次の方法により選任する。
 - (1) 会長及び副会長は総会において正会員の互選により選出する。
 - (2) 常任理事は理事の中から会長が選任する。
 - (3) 理事及び監事は正会員より会長が選任する。
- 第十条 役員は任期は年とし再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合はその後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

- 第十一条 本会に顧問をおく。会長が、学長、副学長(三名)、短期大学部長、学芸学部長、人間社会学部長、栄養科学部長を顧問に委嘱する。加えて、会長は、後援会三役経験

- 者および常任理事経験者を顧問に委嘱することができる。
- 顧問は本会の運営について会長の諮問に応じ、総会および役員会に出席して意見を述べることができる。

第五章 会議

- 第十二条 会議は総会、常任理事会、理事会とし、会長がこれを招集する。
 - 2 前項の会議の議長は会長とする。
- 第十三条 会議の議決は出席者の過半数による。可否同数の時は議長がこれを決定する。
- 第十四条 定期総会は毎年一回開催し、次の事項を審議する。ただし、会長が必要と認めるときは、臨時総会を開くことができる。
 - (1) 事業計画・予算の議決および事業報告・決算の承認
 - (2) 会務の報告
 - (3) 役員を選任
 - (4) 事業の決定
 - (5) その他重要事項

- 2 緊急の際は、理事会をもつて総会にかえることができる。ただし、この場合、総会の事後承認を得なければならない。
- 第十五条 常任理事会は会長・副会長・常任理事で構成し、総会および理事会で決定された会務を処理する。
- 第十六条 理事会は会長・副会長・常任理事・監事構成し、事業計画・予算・事業報告・決算、その他重要事項を審議する。

- 2 理事会は会長が必要と認めるときに、これを開催する。ただし、構成員の三分の二以上の出席をもって成立する。

第六章 会計

- 第十七条 本会の経費は会費、寄付金、その他の収入をもつてこれに充てる。
- 第十八条 正会員は、年度毎に会費二〇、〇〇〇円を納入する。なお、春学期・秋学期の学費とともに納入する。
 - 2 一旦納入された会費は、いかなる場合も返還しない。
- 第十九条 賛助会員は正会員の会費(年額)を二口として、一口以上を随時納入するものとする。
- 第二〇条 本会の事業年度は、定期総会に始まり翌年の定期総会に終わる。
- 第二一条 本会の会計年度は、毎年四月二日に始まり翌年三月三日に終わる。

附則

- 一、この会則の改廃は、総会の議を経なければならぬ。
- 二、この会則の施行について必要な細則は別に定める。
- 三、この会則は一九九五年四月一日より施行する。
- 四、一九九七年七月五日部改正、一九九七年四月日より施行する。
- 五、二〇〇三年六月七日部改正、二〇〇三年四月日より施行する。
- 六、二〇〇六年九月九日部改正、二〇〇六年四月日より施行する。
- 七、二〇〇八年六月七日部改正、二〇〇八年四月日より施行する。
- 八、二〇一〇年六月五日部改正、二〇一〇年四月日から施行する。
- 九、二〇一八年六月九日部改正、二〇一八年四月日から施行する。

後援会内規

- 一、甲慰金 学生または父母が死亡した場合の甲意は、次による。
 - (1) 学生 甲慰金四〇、〇〇〇円および花輪または生花
 - (2) 父母 甲慰金二〇、〇〇〇円および花輪または生花
- 二、旅費
 - (1) 役員会に出席した場合は、別記様式の旅費計算書の提出により旅費を支給する。
 - 2 交通費(五、〇〇〇円を上限とする)。
 - (2) 会長が特に必要と認めた場合の旅費については、前項の規定を準用する。

附則

- 一、この内規は一九九五年四月一日より施行する。
- 二、二〇一六年六月十一日部改正、二〇一六年六月十一日から施行する。

寄稿のお願い

会報は年二回発行の予定です。会員の皆様からの寄稿をお待ちしております。随筆、短歌、トピックス等、六〇〇字程度でお願いいたします。

後援会会報四九号

発行日 二〇一九年九月二〇日
発行所 相模女子大学 後援会
相模女子大学短期大学部
編集責任者 後援会事業部
事務局(大学事務部学生支援課)
〒252-10383
住所 相模原市南区文京二丁目
電話 〇四二(七四)二六九五
FAX 〇四二(七四九)二三〇〇